

牛久市環境審議会議事概要		開催日	令和 8 年 7 月 21 日
件名	令和 8 年度 第 1 回会議	場所 時間	本庁舎 3 階 庁議室 13 : 00～14 : 30
作成年月日	令和 8 年 8 月 4 日	作成	環境経済部環境政策課
出席者	(出席委員) 岡川会長、内海副会長、秋山委員、桑名委員、丸山委員 (牛久市) 沼田市長、吉田環境経済部長、藤木環境経済部次長 (事務局) 小林環境政策課長、宮田環境政策課長補佐、野口主任、稲川主任 (傍聴者) 2 名 (順不同・敬称略)		
議事内容	(1) 牛久市環境基本計画の改定について (諮問) (2) 牛久市第 4 期環境基本計画・牛久市地球温暖化対策実行計画の策定について (審議)		
会 議 内 容 等			
(1) 牛久市環境基本計画の改定について (諮問) 沼田市長より、岡川会長へ諮問書が提出された。			
(2) 牛久市第 5 期環境基本計画の骨子案・牛久市地球温暖化対策実行計画方針について (審議) 事務局より、計画策定の背景と趣旨、計画の位置づけ、策定の方針、計画の実効性を高めるための視点、計画の構成、計画の体系図案、策定・改定のスケジュールなどについて説明を行った。			
委員からの主な意見			
①今回の審議事項について			
・本日はどの項目に意見を出せばいいのかという点がわかりづらい。 → (事務局) 資料中の主な課題を踏まえて第 5 期環境基本計画ではどのような形で施策を推進すればいいのかという点、総合計画との関連性の点、環境基本計画の 5 本の基本目標の不足点、牛久市として環境施策のウェイトをかけるべき点など、第 4 期環境基本計画で足りていないところを第 5 期でどう補っていくか、どの方向性にもっていくかといった視点でご意見を賜りたい。			
②環境基本計画の方向性について			
・新しいキーワード (ネイチャーポジティブ、ウェルビーイング) の使い方、説明、表現方法を工夫する必要がある。生態系サービスや生物多様性ですら、さほど浸透していない中、さらに上位の概念であるネイチャーポジティブという表現を使っていくことは、市民に伝わりにくいと考える。 ・総合計画の 4 節に並んで、環境基本計画も 4 つの基本目標にしたほうがわかりやすいかと思う。 ・資料の文章を市民目線にする必要がある。環境省や関係団体の説明を参考にし、市民にわかりやすい表現や適切な用語を使っていくことが重要である。 ・課題の前提となる実績や取り組み内容が十分に記載されていおらず、課題と取り組み方向性の流れが分かりづらい。 ・脱炭素に向けて、太陽光発電の推進が進んでいるところであるが、牛久市では増えすぎて困って			

いるところもあるので、記載に注意を要する。

- ・有害生物対策や小型家電回収、現行計画に入っていない事項の追加を提案する。
- ・総合計画で挙げられてる環境関係の項目（河川水質など）を網羅しておく必要がある。
- ・河川と閉鎖性水系では指標が異なるため、その点に留意して計画を記載する必要がある。
- ・水質の新規化学物質の規制については、地下水・井戸水の課題に入れるべきである。
- ・環境基本計画の実施計画を冊子として作成するののか確認したい。
- ・防災・減災の視点を強化する必要があるのではないか。

③地球温暖化対策実行計画について

- ・ゼロカーボンシティ宣言を踏まえ、温室効果ガスの排出量の 2050 年ネットゼロに向けて、バックキャスト的な視点での対策の検討が必要なのではないか。
- ・気候変動適応計画をより深める必要があるのではないか。

以 上